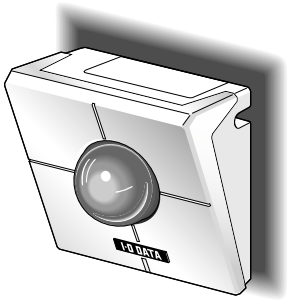
I-O DATA



ネットワークカメラ

取扱説明書

TS-LANCAM

基本編

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、ネットワークカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

・この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後保存し、必要なときにお読みください。

・保証書は「お買いあげ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

この取扱説明書は本機で撮影した画像をパソコンで見るまでをまとめたものです。本機をお使いになる前にCD-ROM（付属）内のTS-LANCAM取扱説明書をよくお読みください。

131669-01

商品概要

本機はネットワークに接続して使用するネットワークカメラです。
本機をLANやインターネットなどのネットワークに接続することで、パーソナルコンピュータ（以下パソコン）のウェブブラウザ上からネットワークカメラの画像を確認することができます。
本機では以下のようなことができます。

○パソコンのウェブブラウザから操作できる！

カメラをネットワークに接続するだけで、パソコンのウェブブラウザから画像の確認やカメラの設定や操作ができます。
注：パソコンによってはネットワーク環境の設定が必要になります。

○映像をJPEGとMPEG-4で確認できる！

カメラの画像を静止画（JPEG）または動画（MPEG-4）で確認することができます。再生や停止の操作もウェブブラウザ上から行うことができます。
※MPEG-4で確認する場合、別途、ウェブブラウザにプラグインソフトウェア（付属品）をインストールする必要があります。
また、本ソフトウェアは、複数台での使用を認められておりません。
特定のパソコン1台にのみインストールして、ご利用になれます。
MPEG-4プラグインは、Windows NT 4.0には、対応しておりません。

○複数台のカメラの画像を1つの画面で同時に表示できる！（マルチスクリーン）

ネットワークカメラの映像（JPEG）を4台まで同時に表示できます。

○監視範囲内の動きを感知したときの動作を設定できる！

監視範囲内に動きを感知すると、画像を自動的に保存したり、メールを送信したりするよう設定することができます。
※監視範囲を設定した後、カメラのパン／チルト／プリセットの操作を行わないでください。監視範囲の位置がずれ、設定した範囲でのアラーム検出ができなくなります。

○ユーザーを制限できる！

ユーザーとパスワードをあらかじめ登録しておくことによって、登録されていないユーザーからカメラ画像を見られないように制限できます。また、ユーザーごとに操作レベルを設定し、カメラの操作や設定などネットワークカメラを使用できるユーザーを制限することができます。

付属品をご確認ください

本機を使用する前に、以下の付属品が揃っているか確認してください。
万一、不足している物がありましたら、お手数ですが、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ACアダプタ.....1
ウォールマウント.....1
取付ねじ.....2
コードカバー取付ねじ.....2
取扱説明書（基本編）.....1
CD-ROM.....1
ラベル（MPEG-4インストール用パスワード）....1
ラベル（MACアドレス）.....1
保証書.....1
設定用Ethernetケーブル
（カテゴリー5、クロスケーブル）.....1

ご注意

1）本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって､本製品及び本書の一部または全部を無断で複製､複写､転載､改変することは法律で禁じられています。

2）本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。

3）本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。

4）書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。

5）本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

6）本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。

7）本サポートソフトウェアの使用にあたっては､バックアップ保有の目的に限り､各1部だけ複写できるものとします。

8）お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。

9）お客様は､本製品または､その使用権を第三者に再使用許諾､譲渡､移転またはその他の処分を行うことはできません。

10）弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

11）本製品は日本国内仕様です｡本製品を日本国外で使用された場合､弊社は一切の責任を負いかねます｡また､弊社は本製品に関し､日本国外への技術サポート､及びアフターサービス等を行っておりませんので､予めご了承ください。
(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

12）本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

13）本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

商標および登録商標について

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows XPは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- EthernetはXerox Corporationの商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
- 本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 98 Second Edition 日本語版をWindows 98 SEと表記しています。

Microsoft® Windows® 2000 Professional ServicePack2 以降の日本語版をWindows 2000と表記しています。

Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版をWindows Meと表記しています。

Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 ServicePack6a 日本語版をWindows NT 4.0SP6aと表記しています。

Microsoft® Windows® XP Professional および Home Edition 日本語版をWindows XPと表記しています。

もくじ

はじめに

商品概要 ……2
付属品をご確認ください ……2
ご注意 ……3
商標および登録商標について ……3
略称について ……3
安全上のご注意 ……5
取り扱い上のご注意 ……8
各部の名前 ……9
前面 ……9
後面 ……9
映像を見るまでの作業手順……10
システム環境を確認する……12
カメラを壁に設置する……13

基本

パソコンに直接接続して画像を見よう……14
本機とパソコンを接続する（接続タイプ1） ……14
IP簡単設定ソフトウェアを使ってセットアップを行う ……15
カメラの画像をJPEGで見る ……17
カメラの画像をMPEG-4で見る ……20

応用

イントラネット/インターネットに接続する ……23
イントラネット（LAN）で使用する（接続タイプ2） ……24
インターネット経由で使用する（接続タイプ3～4） ……25
IP簡単設定ソフトウェアを使ってセットアップを行う ……27
1台のカメラ画像をJPEGで見る ……31
1台のカメラ画像をMPEG-4で見る ……34
携帯電話（iモード）でJPEGを見る ……37

その他

ファームウェアのバージョンアップ……38
仕様……39
保証とアフターサービス……40

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

- ただちにACアダプタを抜いてください。

分解しない、改造しない



分解禁止

故障したり、火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、修理センターにご連絡ください。

本機およびACアダプタをぬらさない



水ぬれ禁止

近くに、花瓶、コップなどを置かないでください。発火、感電の原因になります。

- ただちにACアダプタを抜いてください。

本機やACアダプタから煙・異臭・異音が出たり、落下などにより破損したときは使用を中止する



そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちにACアダプタを抜いてください。

不安定な場所に置かない



禁止

落下によるけがの原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

ACアダプタのコードやプラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）


禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は修理センターにご相談ください。

ACアダプタのプラグほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ACアダプタをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

ACアダプタのプラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない


禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、ACアダプタの抜き差しはしない


ぬれ手禁止

感電の原因になります。

専用のACアダプタ（極性統一型プラグ）以外は使用しない


禁　止

専用以外のACアダプタを使用すると、電圧や＋－の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災の恐れがあります

雷のときは工事配線しない


禁　止

火災や感電の原因になります。

ACアダプタを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持つ



感電の原因になります。

火気を近づけない


火気禁止

火災の原因になることがあります。

⚠警告

本製品はリチウム電池を使用します。リチウム電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、交換、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。電池を水に浸したり、100℃以上に熱したり、分解しないでください。

リチウム電池の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

製品を火中に投入・加熱・分解しない

禁止

火中に投入すると、破裂したり、激しく燃えることがあります。
製品内部の電池を分解すると発熱して発火することがあります。
製品内部の電池を100℃以上に加熱すると、電池内部にガスが発生して電池内部の圧力の上昇により破裂・発火することがあります。

電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、体や衣服につくと失明やけが、皮膚の炎症の原因となります。

禁止

液が目に入ったとき ➡ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

液が体や衣服についたとき ➡ すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

⚠注意

可燃性雰囲気中で使用しない

禁止

爆発し、けがの原因になります。

振動や強い衝撃を与えない

禁止

火災や感電、故障の原因になります。

水、湿気、ほこり、油煙等の多い場所（調理台や加湿器のそばなど）に設置しない

水場使用禁止

故障や感電、ショートの原因になります。

定期的に点検する

金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。

長時間使用しないときやお手入れするときは、必ずACアダプタをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

漏電・感電の原因になることがあります。

本機を壁などに取り付けて使用するときは、堅固・確実に取り付ける

落下によりけがの原因になることがあります。

取り扱い上のご注意

⚠警告、⚠注意 に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

●長時間安定した性能でお使いいただくために

- 高温・多湿の場所で長時間使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります。
  （推奨温度40℃以下）
  設置場所の放熱や暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。
- 周囲温度0℃～+40℃、湿度は90%以下の場所でお使いください。（常時通電状態でお使いになる場合）
- 屋外では、ご使用になれません。

●ドームカバーに直接触れないでください

カバーが汚れると画質劣化の原因となります。本機を移動するときは側面をお持ちください。

●ドームカバーに強い衝撃を与えないでください

破損、浸水の原因となります。

●強い光にカメラを向けないでください

画面の一部分にスポット光のような強い光があると、ブルーミング（強い光の周りがにじむ現象）、スミア（強い光の上下に縦縞が発生する現象）を生じることがあります。

●取り扱いはていねいに

落としたり強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因になります。

●屋内でのみ使用してください

長時間日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。
変形・変色または故障・誤動作の原因になります。

●使用電源は付属の専用ACアダプタを使用する

ACアダプタの電源はAC100V（50/60 Hz）です。また、消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じACコンセントからは電源をとらないでください。

●内蔵バックアップ電池について

初めて使用するときは、48時間以上の連続通電を行い、内蔵のバックアップ電池を充電してください。

電池の充電が不十分ですと、停電があったときに内部時計の時刻が狂ったり、停電前の動作状態に正しく戻れない場合があります。

内蔵バックアップ電池交換の目安は約5年です。交換する際は、弊社修理センターにご相談ください。

●お手入れは

お手入れは、電源を切って行ってください。けがの原因になります。
ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。

●汚れがひどいときは

うすめた台所用洗剤をやわらかい布にしみこませ、よくしぼり、軽く拭いてください。そのあと、乾拭きしてください。

●きれいな画面を得るためには

1か月に一度、ドームカバーを清掃すると、きれいな画面を得られます。

●使用するパソコンについて

パソコンのモニター上に長時間同じ画像を表示させると、モニターに損傷を与えることがあります。スクリーンセーバーの使用をおすすめします。

●ブロードバンドルータについて

本機をインターネットに接続する場合で、ルータを使用するときは、バーチャルサーバー（ポートフォワード）機能（NAT、IPマスカレード）付きのブロードバンドルータをご使用ください。バーチャルサーバー機能の概要については26ページを参照してください。

●異常検出時、自動的に再起動を行います

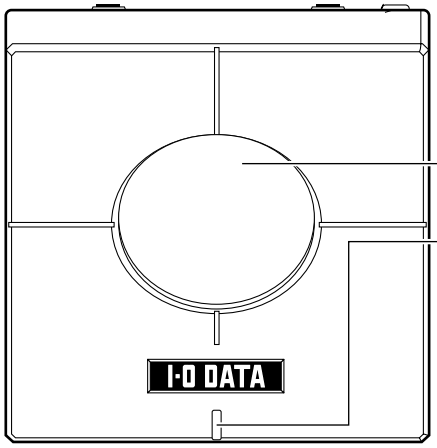
本機は、何らかの原因で異常を検出すると自動的に再起動します。再起動後、電源投入時と同様に初期化動作を行うため約2分間操作できません。（→14ページ）

●本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講じるよう要求されることがあります。

各部の名前

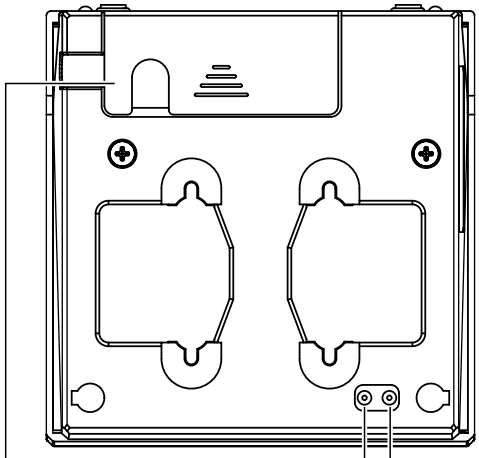
前面



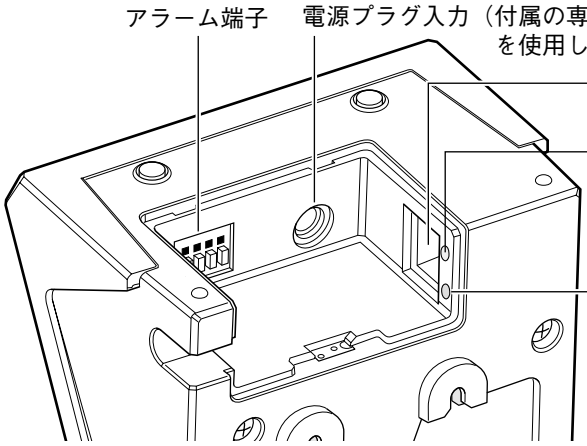
ドームカバー

パワーLED
システム設定ページで点灯のON/OFFを設定できます。
詳細はCD-ROM内にあるTS-LANCAM取扱説明書「設定」ー「システムに関する設定を行う」をお読みください。
ON選択時、本LEDはカメラにアクセスが行われているとき点滅します（アクセスが終了しても約2分間は点滅し続けます）。
MPEG-4マルチキャストモード時は常時点滅表示します。

後面



コードカバー
外すときは、▬部を内側に押し付けながらスライドしてください。



アラーム端子　電源プラグ入力（付属の専用ACアダプタを使用してください）

Ethernet コネクタ

リンクLED（橙）
(接続機器と通信が可能になると点灯します)

アクセスLED（緑）
(ネットワークにアクセスしているときに点灯します)

［コードカバー内部］

②HTML初期化リセットスイッチ
（スイッチを押しながら、ACアダプタをコンセントに差し込み、そのままスイッチを5秒以上押し続け、その後スイッチを離した状態で通電したまま放置してください。カメラのパン／チルト動作が完全に終了した段階でHTMLデータの初期化が完了します。HTMLデータの初期化には4分程度かかります）

①設定データリセットスイッチ
（スイッチを押しながら、ACアダプタをコンセントに差し込み、そのままスイッチを5秒以上押し続け、その後スイッチを離した状態で通電したまま放置してください。カメラのパン／チルト動作が完全に終了した段階で設定データの初期化が完了します。設定データの初期化には3分程度かかります）

！重要

ACアダプタは、本機電源プラグ入力部および電源コンセントにしっかりと差し込んでください。

補足

・設定データリセット：
画面上の設定メニュー欄から入力できる数値や文字の全てがリセットされます。機能アップして条件を変更する必要が発生した時や、設定した内容に不具合等などが発生した時などデフォルトに戻したい場合などに行います。

・HTMLリセット：
初期化される内容はHTMLデータおよびGIFデータの2点のみです。
ファームウェアのバージョンアップにより、機能追加によるデザイン変更が発生した時に必ず行う必要があります。
通常は、使用しません。

映像を見るまでの作業手順

初めてご使用になる場合、映像を見るまでの流れを以下に示します。

・初めてご使用になる場合

安全上のご注意・取り扱い上のご注意をお読みください。

→5～8ページ

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお読みください

⬇

本機の各部の名前と働きを確認する

→9ページ

⬇

システム環境を確認する

→12ページ

本機を使用するために必要なパソコンの環境を確認しま

⬇

本機とパソコンを1対1で接続し、本機のネットワーク設定を行う。

設定時は、ご自身のネットワーク環境を確認し、最も近い接続タイプの手順に従って設定してください。

⬇

本機を設置する

→13ページ

→ • 本機とパソコンを直接接続して映像を確認する[接続タイプ1]

カメラとパソコンを直接接続する →14ページ

本機を使用するために必要なパソコンの環境を確認します。

⬇

本機のネットワーク設定を行う →15～16ページ

⬇

本機を設置する →13ページ

⬇

JPEGをみる →17～19ページ

設定時は、ご自身のネットワーク環境を確認し、最も近い接続タイプの手順に従って設定してください。

⬇

MPEG-4をみる →20～22ページ

→ • 本機をイントラネットまたはインターネットに接続して画像を見る[接続タイプ2～4]

接続方法を確認する →23～25ページ

接続に必要な機器、接続方法を確認します。

⬇

本機のネットワーク設定を行う →27～30ページ

⬇

本機を設置する →13、24～25ページ

⬇

JPEGをみる →31～33ページ

設定時は、ご自身のネットワーク環境を確認し、最も近い接続タイプの手順に従って設定してください。

⬇

MPEG-4をみる →34～36ページ

⬇

携帯電話（iモード）でJPEGをみる →37ページ

システム環境を確認する

本機は以下のシステム環境を持つパソコンで操作できます。

OS：Windows XP
Windows 2000
Windows Me
Windows 98 SE
Windows NT 4.0SP6a

コンピュータ：パソコン／AT互換機

CPU：JPEGの場合
Pentium® Ⅱ（300 MHz）以上
MPEG-4の場合
Pentium® Ⅲ以上

メモリ：128MB以上

画面：True color 24ビット以上
XGA以上の解像度で使用してください。

インターフェース：10/100MbpsのEthernet®カードが内蔵されていること

対応しているネットワークプロトコル
：TCP/IP、UDP/IP、HTTP、FTP、SMTP、RTP、DNS、DDNS、DHCP、ARP、BOOTP、NTP、SNMP

サポート対象ブラウザ：Internet Explorer 5.5、5.5SP2、6.0
MPEG-4用プラグインソフトウェアはInternet Explorer専用です。

Adobe® Acrobat® Reader™
：CD-ROM内の取扱説明書を参照するために必要です。パソコンにAcrobat Readerがインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAcrobat Readerをダウンロードし、インストールしてください。

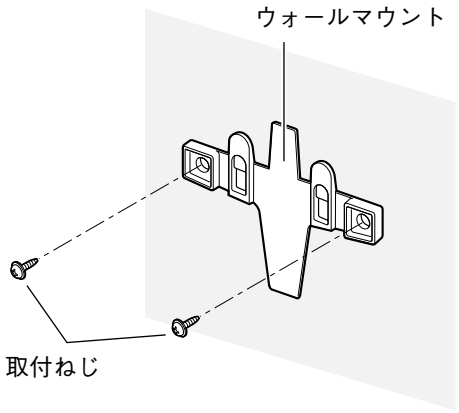
CD-ROMドライブ：MPEG-4用プラグインソフトウエアのインストールおよびCD-ROM内の取扱説明書を参照するために必要です。

! 重要

- ネットワークプロトコル PPPoE はサポートしていません。
- Internet ExplorerでJPEG、MPEG-4を見る場合は、[ツール]－[インターネットオプション]をクリックしてインターネットオプションを表示し、[セキュリティ]－[レベルのカスタマイズ]から以下の項目を「有効にする」にチェックしてください。
  ・ActiveXコントロールとプラグインの実行
  ・スクリプトを実行しても安全だとマークされているActiveXコントロールのスクリプトの実行
  ・アクティブスクリプト
- プロキシサーバーの設定は、[ツール]－[インターネットオプション]をクリックしてインターネットオプションを表示し、[接続]－[LANの設定]で「ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない」をチェックしてください。
- Internet Explorer をご使用の場合は、[ツール]－[インターネットオプション]をクリックしてインターネットオプションを表示し、[全般] －「インターネット一時ファイル」ボックスの[設定]ボタンをクリックし、「ページを表示するごとに確認する」にチェックしてください。

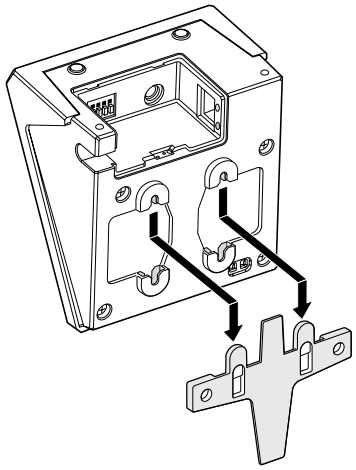
カメラを壁に設置する

ここでは壁面への取り付けを例に説明します。



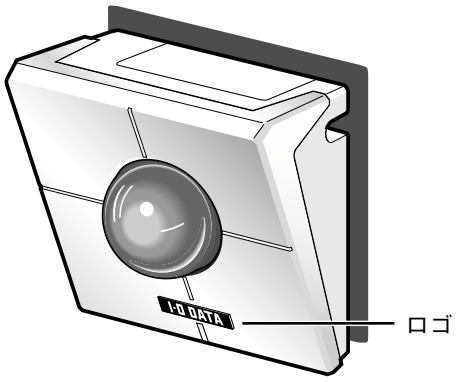
STEP1

壁面に取付ねじでウォールマウントを取り付けます。



STEP2

左図のイラストを参照して、ウォールマウントに本機を取り付けます。
カメラは上下を反転しても取り付けることは可能です。撮影したい場所に応じて、上下の向きを変えてください。

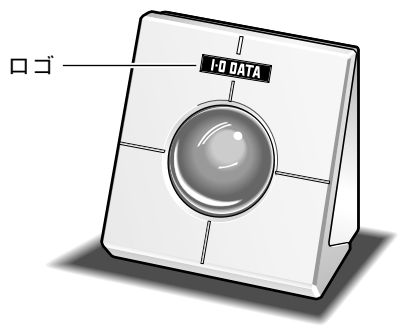


STEP3

I·O DATAロゴの向きがイラストのようになっているか確認します。
向きが逆になっている場合は、ロゴを回転して向きを合わせます。

補定

- 壁面へ取り付けて上記のイラストの向きで本機を使用する場合は、基本設定ページの［設置状態］を「壁掛け」に設定してください。（→32ページ）また、I·O DATAロゴの向きを確認してください。
- 本機にACアダプタとEthernetケーブル（カテゴリー5）を接続してください。その後、コードカバーをスライドして取り付けます。コードカバーが外れるのを防止するために、付属のコードカバー取付ねじ（2本）で締め付けてください。



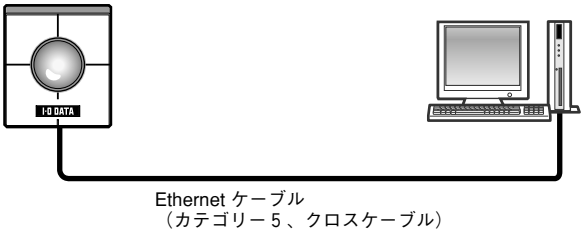
パソコンに直接接続して画像を見よう

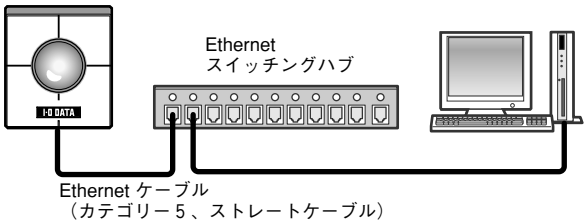
本機をネットワークに接続する前に、本機をパソコンに直接接続し映像が見られることを確認します。

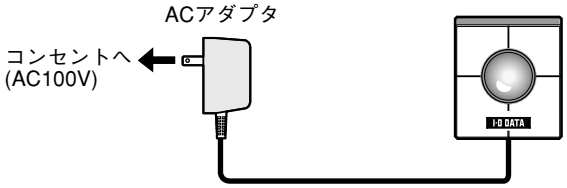
パソコンから本機を操作するためにはネットワーク設定を行う必要があります。ネットワークの設定は付属のIP簡単設定ソフトウェア(簡単設定ソフト)を使って行います。簡単設定ソフトで設定できないときは、個別に本機とパソコンの設定を行います。詳しくは、付属のCD-ROM内にあるTS-LANCAM取扱説明書の「セットアップしよう！」および「本機のネットワーク設定をおこなう」をお読みください。

本機とパソコンを接続する（接続タイプ1）

ネットワークの設定を行う前に、以下の準備を行います。







STEP1

本機とパソコン を左記のイラストのどちらかの方法で接続します。

重要

- 接続する前に、本機、スイッチングハブ、パソコンなど接続する機器の電源をOFFにするかまたはACアダプタを電源コンセントから抜いてください。
- 本機とパソコンを直接接続する場合、Ethernetケーブルは必ずカテゴリー5のクロスケーブルを使用してください。

STEP2

電源アダプタをコンセントに差し込み、カメラの電源を入れます。

補足

- 電源供給後、使用可能になるまで約2分かかります。
  (電源が供給されるとパワーランプが約80秒間点灯したあと、約20秒点滅します。その後ドームカバー内のカメラ部のパン・チルト動作が1往復ずつ行われます)
- 電源供給後、パワーLEDおよびリンクLEDが点灯することを確認してください。
  パワーLEDが点灯しない場合:ACアダプタが本機およびコンセントに確実に差し込まれていることを確認してください。
  リンクLEDが点灯しない場合:Ethernetケーブルが確実に差し込まれているか確認してください。また、ケーブルの種類(ストレート/クロス)が接続方法と一致しているかを確認してください。

IP簡単設定ソフトウェアを使ってセットアップを行う

本機に付属されているCD-ROM内のIP簡単設定ソフトウェア（以下、簡単設定ソフト）を使って、本機のネットワークに関する設定を行います。

STEP1

付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入すると、ランチャーソフトが起動します。

簡単設定ソフトの項目

- はじめにお読みください
- IP簡単設定ソフトウェア
- 取扱説明書(Adobe Acrobat® 形式)
- MPEG-4プラグインのインストール

「はじめにお読みください」を読んだ後、「IP簡単設定ソフトウェア」をクリックします。

補足

- ランチャーソフトが表示されないときは、CD-ROM内にあるSetup.exeをクリックしてください。
- ファイヤーウォール（ソフト含む）を導入している場合、UDPの全ポートに対してアクセスを許可してください。許可しないとIP簡単設定ソフトは使用できません。

画面1

簡単設定ソフトが起動します。
接続されているカメラのMAC アドレスとIPアドレスが表示されます。（表示されない場合は、［リフレッシュ］ボタンをクリックしてください。）



STEP2

設定するカメラのMACアドレス／IPアドレスをクリックします。

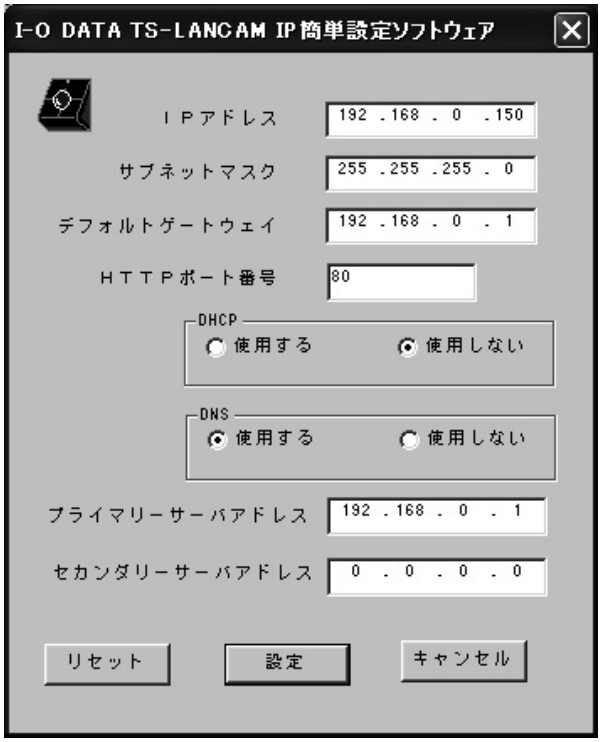
STEP3

［IP設定］ボタンをクリックします。

パソコンに直接接続して画像を見よう

画面2

設定画面が表示されます。



STEP4

ネットワークの各項目を設定します。

［IPアドレス］
［サブネットマスク］
［デフォルトゲートウェイ］
［HTTPポート番号］

使用環境に応じて設定値を入力してください。設定値がわからない場合は、14～15ページ、29～30ページをお読みください。

［DHCP］［DNS］
DHCPクライアント機能、DNSサーバー参照機能を使用する場合は、「使用する」にチェックを入れます。
DNS機能を使用する場合は、DNSサーバーのプライマリ／セカンダリのアドレスを入力してください。

※メールサーバーやFTPサーバーにドメイン名で接続する場合は、設定が必要となります。

STEP5

設定したら、［設定］ボタンをクリックします。

！重要

［設定］ボタンをクリック後、本機への設定が完了するまで約20秒かかります。設定が完了する前に、ACアダプタやEthernetケーブルを抜くと、本機に設定できなくなります。

カメラの画像をJPEGで見る

セットアップが完了したら、本機の画像をJPEGで見ることができます。

準備

基本設定ページでJPEGに関する設定を行います。
ブラウザを起動して、基本設定ページを表示します。

画面1

パソコンを起動した直後の画面から始めます。



STEP1

デスクトップ上などにあるInternet Explorerのアイコンをダブルクリックし、ブラウザを起動します。

ブラウザが起動します。

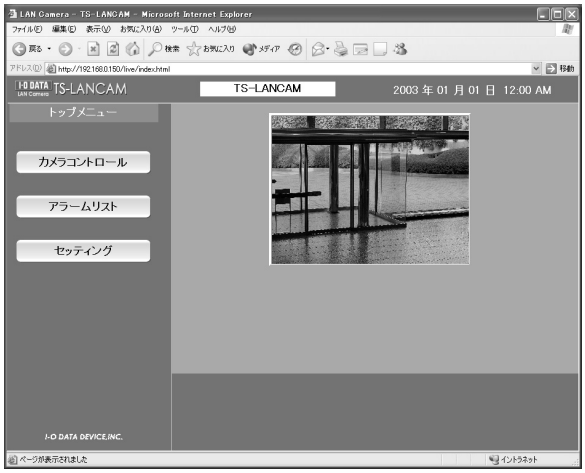
STEP2

簡単設定ソフトで設定したIPアドレスを［アドレス］ボックスに入力し、Enterキーを押します。(IPアドレスを変更していない場合は、「192.168.0.150」を入力します)

パソコンに直接接続して画像を見よう

画面2

運用画面のトップページが表示されます。



STEP3

［セッティング］ボタンをクリックします。

重要

［セッティング］ボタンまたは［カメラコントロール］ボタンをクリックすると、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。お買いあげ時、初めてご使用になる場合は、以下のように入力し、［OK］ボタンをクリックします。

・ユーザー名：admin
・パスワード：password

ユーザー名adminのパスワードは必ず変更してください。変更方法は付属CD-ROM内にあるTS-LANCAM取扱説明書「設定」-「各種設定」-「ユーザー認証に関する設定を行う」をお読みください。

画面3

基本設定ページが表示されます。



補足

画像更新速度について

Fast：　5msec
Middle：　300msec
Slow：　1000msec
Very Slow：5000msec

パソコン側でJPEG画像取得が終了して次の取得要求を出すまでの時間の設定値です。目安として考えてください。

STEP4

［動作モード選択］
［JPEG］にチェックを入れます。

STEP5

［JPEGモード設定］でJPEG画像に関する設定を行います。

［画像更新速度］
画像を更新する速度を以下から選択します。
Fast／Middle／Slow／Very Slow

［ライブ画解像度］
画像の解像度を以下から選択します。
VGA（640×480）／QVGA（320×240）／QQVGA（160×120）

［ライブ画画質］
画質を以下から選択します。
Super Fine／Fine／Normal／Low

STEP6

設定したら、［設定］ボタンをクリックします。

操作のしかた

準備が終わったら、そのまま基本設定ページから操作できます。

画面1

基本設定ページから操作します。

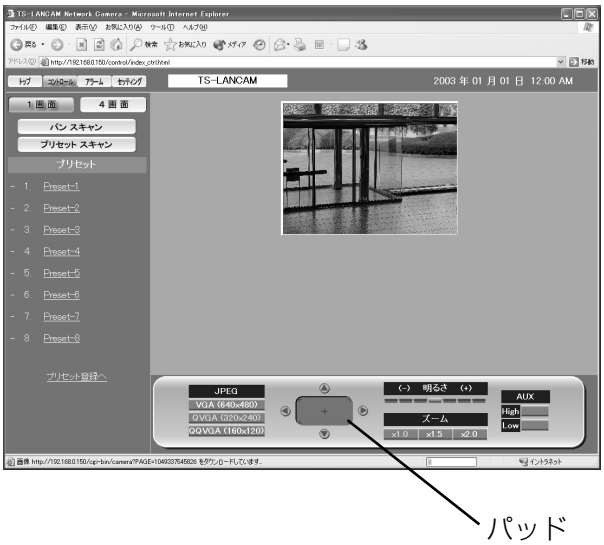


STEP1

［コントロール］ボタンをクリックします。

画面2

コントロールページにカメラの画像がJPEGで表示されます。



パッド

補足

- 本機のネットワークの設定が完了し、カメラの画像を見る操作から直接始める場合は、ブラウザを起動して、画像を見たいネットワークカメラの運用画面のトップページを表示します。表示されたトップページにカメラの画像が表示されます。
- ［画像更新速度］が「Very Slow」に設定されているときに、パン・チルトを実行すると、画像が滑らかに表示されません。

STEP2

カメラの操作や画像の調節を行います。

［パン・チルト］
上下左右のボタンをクリックして調節します。パッド中央の点（横線と縦線の交差部分）が、現在のカメラの位置です。パッドをクリックすると、上下左右ボタンをクリックするより大きく動かすことができます。

［画像の解像度の調節］
見たい画像の解像度のボタンをクリックします。

［画像の明るさの調節］
ボタンをクリックして調節します。一番左側にあるボタンが一番暗く、一番右側にあるボタンが一番明るくなります。また、現在設定されているボタンが水色になります。

［ズーム］
見たい倍率のボタンをクリックして調節します。倍率を上げると、画像が粗くなります。

［AUX］
本機のAUX出力端子の状態を設定できます。AUXの出力端子の詳細については付属CD-ROM内にあるTS-LANCAM取扱説明書の「アラーム端子・AUX端子について」をお読みください。
※アラーム端子、AUX端子の使用は、サポート対象外となります。

［パンスキャン］
カメラを左右に1往復ずつ動作させ、モニタリングします。

パソコンに直接接続して画像を見よう

カメラの画像をMPEG-4で見る

1台のカメラの画像をMPEG-4で確認します。この場合、MPEG-4を確認するためのプラグインソフトウェアをインストールする必要があります。

MPEG-4プラグインソフトウェアをインストールしよう

付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入し、CD-ROMにあるランチャーソフトのMPEG-4プラグインのインストールを選択します。
インストーラが起動しますので、画面の指示に従って操作してください。インストール時、パスワードの入力が必要になります。ラベルに記載されているパスワードを入力してください。

! 重要

- MPEG-4用プラグインソフトウェアはInternet Explorer専用です。その他のウェブブラウザでは使用できません。
- ファイヤーウォール（ソフト含む）を導入している場合、UDPの全ポートに対してアクセスを許可してください。許可しないと本機の映像をMPEG-4で確認することができません。
- Windows NTではMPEG-4プラグインソフトウェアは使用できません。
- MPEG-4プラグインソフトウェアインストール時、Windows 2000の場合、使用するユーザーは「Administrator」でログオンしてください。また、Windows XPの場合は「コンピュータの管理者」でログオンしてください。
- パソコンの画面設定はTrue color 24ビット以上に設定してください。

補足

アンインストールする場合は、以下の手順で行ってください。

＜Windows XP以外の場合＞
1. ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択し、コントロールパネルを開きます。
2. ［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。
3. 「Web Video」を選択し、［変更／削除］ボタンをクリックします。
4. 画面の指示に従って削除の作業を行います。

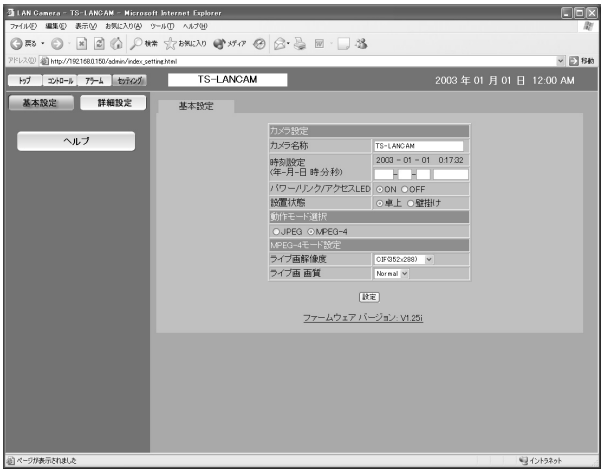
＜Windows XPの場合＞
1. ［スタート］－［コントロールパネル］を選択し、コントロールパネルを開きます。
2. ［プログラムの追加と削除］をダブルクリックします。
3. 「Web Video」を選択し、［変更と削除］ボタンをクリックします。
4. 画面の指示に従って削除の作業を行います。

準備

MPEG-4プラグインソフトウェアをインストール後、基本設定ページでMPEG-4に関する設定を行います。
ブラウザを起動して、画像を見たいネットワークカメラの基本設定ページを表示します。
基本設定ページの表示のしかたについては17、18ページをお読みください。

重要

本機を接続するネットワークの回線速度によっては、MPEG-4の再生に不具合が生じることがあります。この場合は、カメラ設定ページ(動作モード設定タブ)で「最大ビットレート（1クライアントあたり)」を設定します。詳しくは、付属CD-ROM内のTS-LANCAM取扱説明書「設定」-「各種設定」-「動作モードに関する詳細設定を行う」をお読みください。



STEP1

［動作モード選択］
［MPEG-4］にチェックを入れます。自動的にMPEG-4の基本設定画面に変わります。

STEP2

［MPEG-4モード設定］でMPEG-4画像に関する設定を行います。

［ライブ画解像度］
画像の解像度を以下から選択します。
CIF（352×288）／QCIF（176×144）

［ライブ画画質］
画質を以下から選択します。
Fine／Normal／Low

STEP3

設定したら、［設定］ボタンをクリックします。

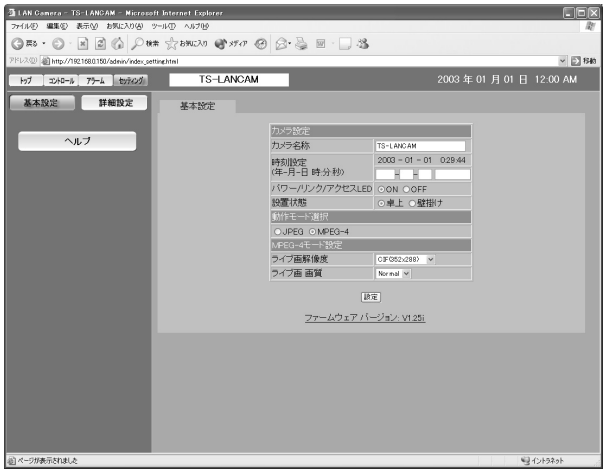
パソコンに直接接続して画像を見よう

操作のしかた

準備が終わったら、そのまま基本設定ページから操作できます。

画面1

基本設定ページから操作します。

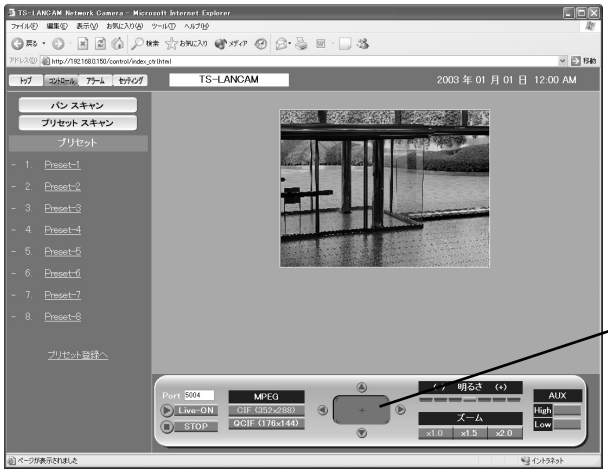


STEP1

［コントロール］ボタンをクリックします。

画面2

コントロールページが表示されます。



補足

- 本機のネットワークの設定が完了し、操作から直接始める場合は、ブラウザを起動して、本機の運用画面のトップページを表示します。表示されたトップページにカメラの画像が表示されます。
- MPEG-4ストリームのポートは5004に設定されています。他のアプリケーションでこのポートを使用している場合は、本製品のポート番号(偶数)を変更してください。

STEP2

［Live-ON］ボタンをクリックすると再生します。
［STOP］ボタンをクリックすると停止します。
停止している間、画像は表示されません。

また、カメラの操作や画像の調節も行えます。

［パン・チルト］
上下左右のボタンをクリックして調節します。
パッド中央の点（横線と縦線の交差部分）が、現在のカメラの位置です。パッドをクリックすると、上下左右ボタンをクリックするより大きく動かすことができます。

［画像の解像度の調節］
見たい画像の解像度のボタンをクリックします。

［画像の明るさの調節］
ボタンをクリックして調節します。一番左側にあるボタンが一番暗く、一番右側にあるボタンが一番明るくなります。また、現在設定されているボタンが水色になります。

［ズーム］
見たい倍率のボタンをクリックして調節します。
倍率を上げると、画像が粗くなります。

［AUX］
本機のAUX出力端子の状態を設定できます。
AUXの出力端子の詳細については付属CD-ROM内にあるTS-LANCAM取扱説明書の「アラーム端子・AUX端子について」をお読みください。

※アラーム端子、AUX端子の使用はサポート対象外となります。

［パンスキャン］
カメラを左右に1往復ずつ動作させ、モニタリングします。

イントラネット/インターネットに接続する

イントラネットやインターネットなどに接続して、画像を確認します。各機器を接続する前に、まず接続タイプを確認します。どの接続タイプで接続するのか確認してください。
ここでは、接続タイプ別に接続のしかたを説明しています。
接続を始める前に、接続タイプ別に必要なハードウェアやケーブルを確認し、準備してください。

! 重要

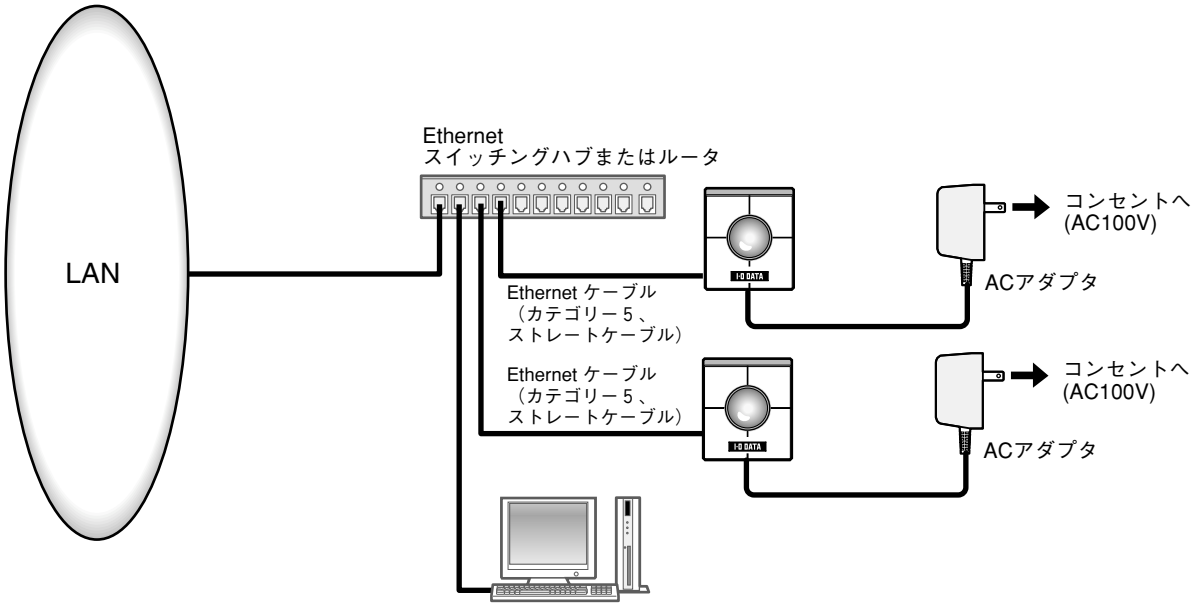
本機、ADSL/ケーブルモデム、スイッチングハブ、パソコンなどネットワーク接続する機器の電源をすべてOFFにするか、ACアダプタを電源コンセントから抜いてから接続してください。

イントラネット/インターネットに接続する

イントラネット（LAN）で使用する（接続タイプ2）

社内イントラネットや家庭内イントラネット内にあるカメラの映像を同一LAN内で見る場合は、Ethernetのハブまたはルータを使って、イントラネット（LAN）に本機を接続します。

＜接続例＞



＜必要なハードウェア＞

Ethernetスイッチングハブまたはルータ

＜必要なケーブル＞

Ethernetケーブル（カテゴリー5、ストレートケーブル）

！重要

- ハブ、ルータは10BASE-T／100BASE-TX対応のスイッチングハブまたはルータを使用してください。また、パソコンには10BASE-T／100BASE-TX対応のLANカードを使用してください。
- 電源は各ネットワークカメラごとに必要です。

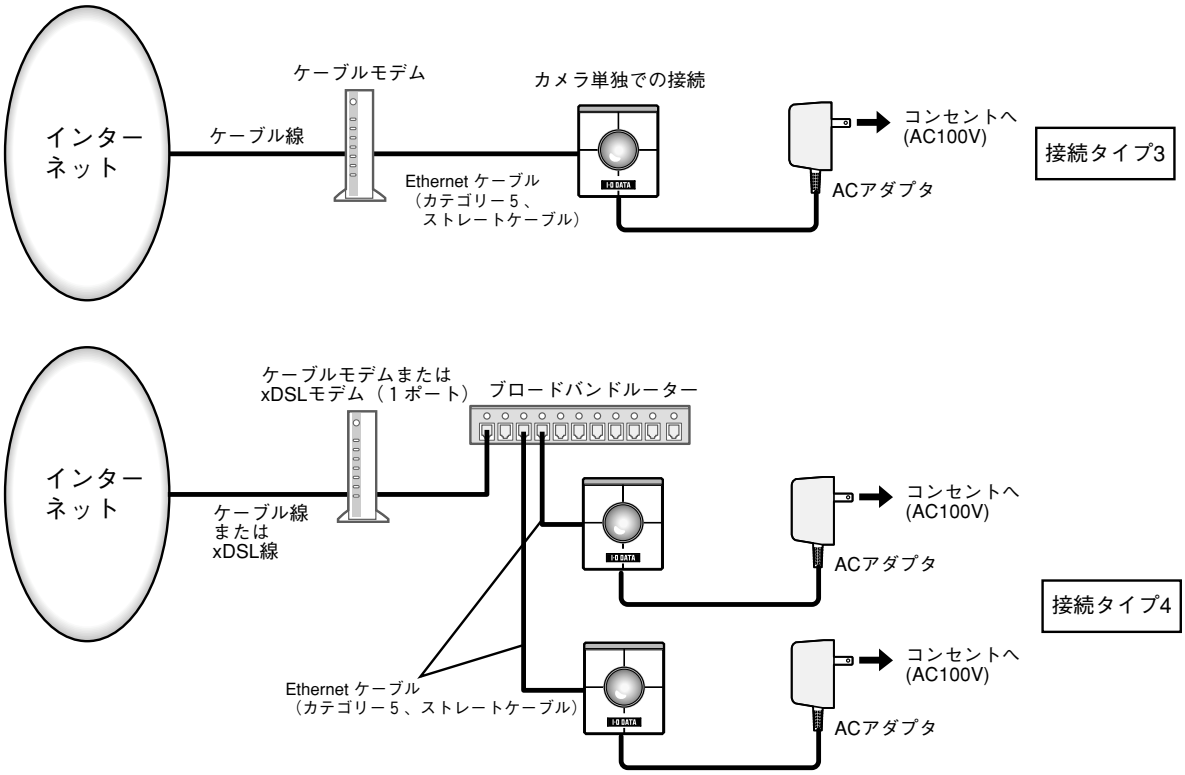
インターネット経由で使用する（接続タイプ3~4）

インターネットを経由して本機を使用します。モデムまたはブロードバンドルーターを使ってインターネットに接続します。携帯電話（iモード）で閲覧する場合は、この接続方法となります。

※インターネット側からの閲覧には、DDNSの設定およびサービスの登録が必要です。（グローバルIPアドレスが変動するとき）

DDNSの詳細については、「http://www.iobb.net/」をご覧ください。

＜接続例＞



＜必要なハードウェア＞

- ケーブルモデムまたはxDSLモデム
- ブロードバンドルーター

＜必要なケーブル＞

Ethernetケーブル（カテゴリー5、ストレートケーブル）

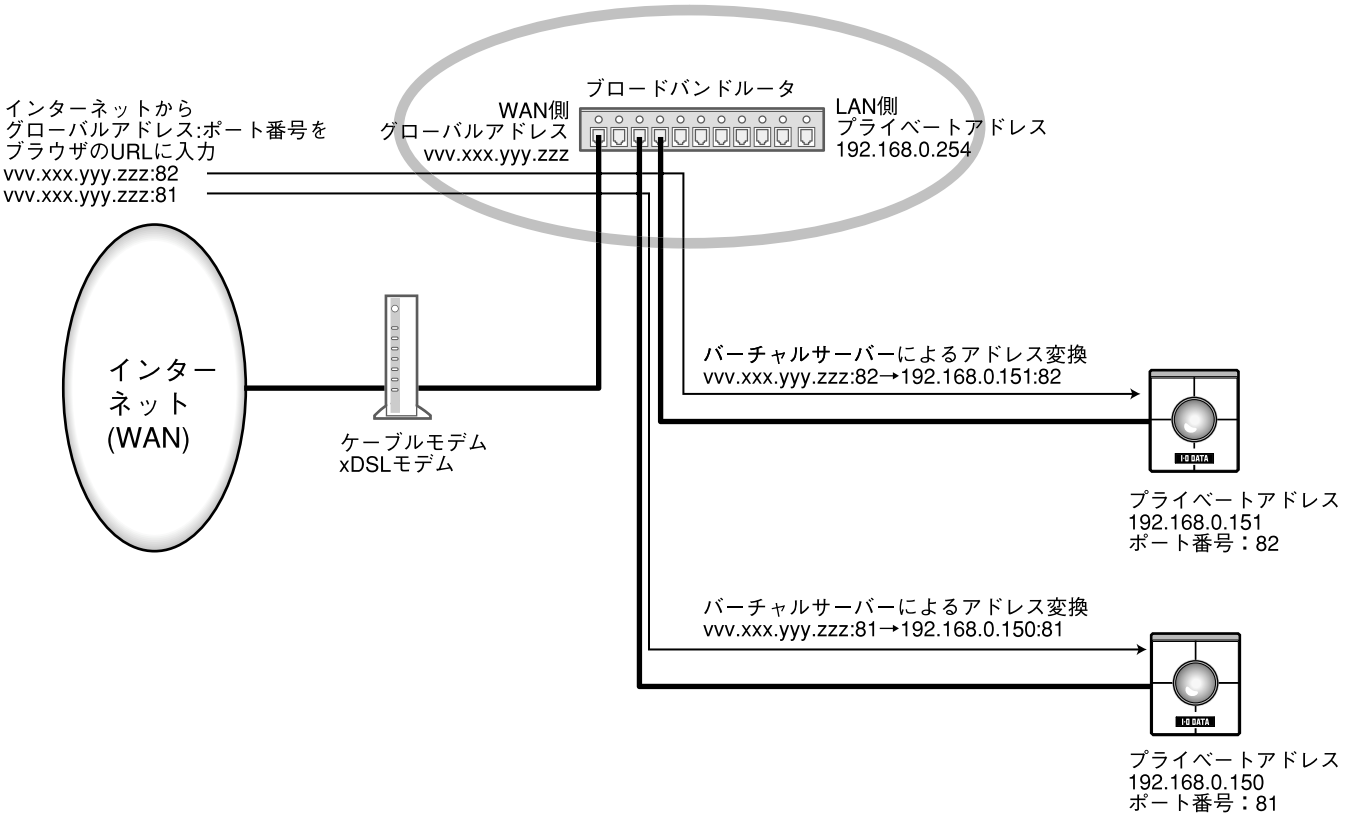
！重要

- 接続タイプ3、4で使用する場合、インターネットサービスプロバイダーから**グローバルIPアドレスを取得する必要があります。また、あらかじめ本機のセットアップはパソコンと本機を直接接続して行ってください。**（→27ページ）
- 接続タイプ3で使用する場合は本機にグローバルIPアドレス設定します。
  接続タイプ4で使用する場合はブロードバンドルータにグローバルIPアドレス設定します。また、バーチャルサーバー機能の設定が必要です。（→29ページ）
- ハブ、ブロードバンドルータは10BASE-T／100BASE-TX対応のスイッチングハブまたはブロードバンドルーターを使用してください。
- 電源は各ネットワークカメラごとに必要です。
- 複数のカメラを利用するためには、ブロードバンドルータの設定が必要です。さらに、各カメラにも個別にポート番号を設定する必要があります。設定については30ページをお読みください。また、ブロードバンドルータの設定についてはブロードバンドルータの取扱説明書をお読みください。

イントラネット/インターネットに接続する

補足

- バーチャルサーバー（ポートフォワード）機能とは(静的IPマスカレード、NATアドレス変換)
  バーチャルサーバー機能とは、グローバルIPアドレスをプライベートIPアドレスに変換するための機能で、静的マスカレードまたはNATアドレス変換などがあります。これらの機能はルータに設定します。
  ブロードバンドルータに本機を接続してインターネット経由でカメラ画像を見るには、カメラごとに個別のポート番号を設定し、バーチャルサーバー機能を用いてアドレス変換を行う必要があります。また、各カメラのIPアドレスは、固定することを、おすすめします。詳しくは、ご使用になるブロードバンドルータの取扱説明書をお読みください。



IP簡単設定ソフトウェアを使ってセットアップを行う

本機に付属されているCD-ROM内のIP簡単設定ソフトウェア（以下、簡単設定ソフト）を使って、本機のネットワークに関する設定を行います。

STEP1

付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入すると、ランチャーソフトが起動します。

簡単設定ソフトの項目

- はじめにお読みください
- IP簡単設定ソフトウェア
- 取扱説明書(Adobe Acrobat® 形式)
- MPEG-4プラグインのインストール

「はじめにお読みください」を読んだ後、「IP簡単設定ソフトウェア」をクリックします。

補足

- ランチャーソフトが表示されないときは、CD-ROM内にあるSetup.exeをクリックしてください。
- ファイヤーウォール（ソフト含む）を導入している場合、UDPの全ポートに対してアクセスを許可してください。許可しないとIP簡単設定ソフトは使用できません。

画面1

簡単設定ソフトが起動します。
接続されているカメラのMAC アドレスとIPアドレスが表示されます。（表示されない場合は、［リフレッシュ］ボタンをクリックしてください。）



STEP2

設定するカメラのMACアドレス／IPアドレスをクリックします。

STEP3

［IP設定］ボタンをクリックします。

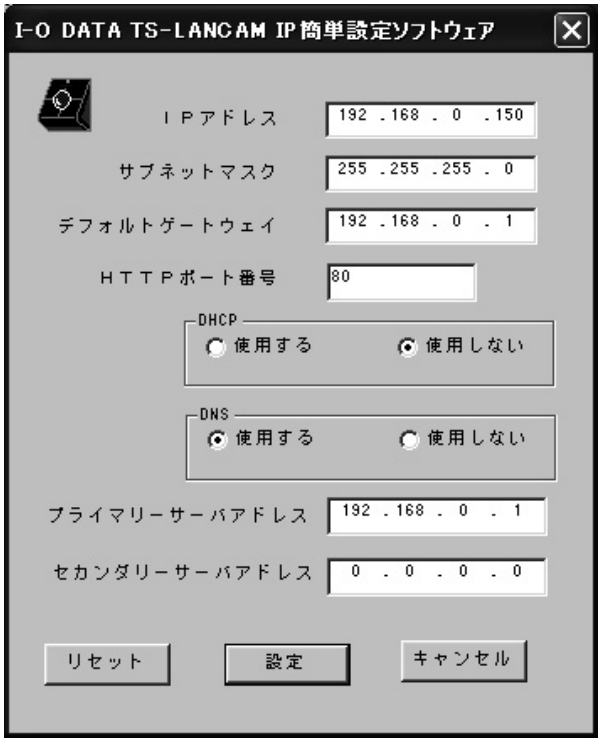
補足

- 本機が複数台接続されているときは、接続されているすべてのカメラのMACアドレスとIPアドレスが表示されます。
- 簡単設定ソフトで認識できるカメラは、同じサブネット内にあるカメラのみです。
- ［リフレッシュ］ボタンをクリックすると、同一サブネット内にあるカメラの最新情報（MACアドレス／IPアドレス）を確認できます。

イントラネット/インターネットに接続する

画面2

設定画面が表示されます。



STEP4

ネットワークの各項目を設定します。

［IPアドレス］
［サブネットマスク］
［デフォルトゲートウェイ］
［HTTPポート番号］

使用環境に応じて設定値を入力してください。設定値がわからない場合は、14～15ページ、29～30ページをお読みください。

［DHCP］［DNS］
DHCPクライアント機能、DNSサーバー参照機能を使用する場合は、「使用する」にチェックを入れます。
DNS機能を使用する場合は、DNSサーバーのプライマリ／セカンダリのアドレスを入力してください。

※メールサーバーやFTPサーバーにドメイン名で接続する場合は、設定が必要となります。

補足

- DHCPサーバーが存在しないにもかかわらずDHCPを「使用する」に設定した場合は、簡単設定ソフトで「使用しない」に設定し直してください。
- DHCPを「使用する」に設定した場合、DHCPサーバーからIPアドレスを取得するまでIPアドレスの表示が「0.0.0.0」になります。取得後、カメラのIPアドレスが表示されます。

STEP5

設定したら、［設定］ボタンをクリックします。

！重要

［設定］ボタンをクリック後、本機への設定が完了するまで約20秒かかります。設定が完了する前に、ACアダプタやEthernetケーブルを抜くと、本機に設定できなくなります。

接続タイプ別のネットワーク設定項目について

設定項目	接続タイプ	設定内容
IPアドレス	接続タイプ1	IPアドレスをxxx.yyy.zzz.nnnの形式で指定します。xxxからzzzまではパソコンと同じ値を設定します。nnnは1とパソコン、他の機器に設定されている値以外の2～254の数字を指定します。
	接続タイプ2	ネットワーク管理者が指定したIPアドレスを設定してください。 ただし、イントラネットでDHCP機能を使用しているときは、設定の必要はありません。
	接続タイプ3※1	プロバイダが指定したIPアドレスを設定してください。
	接続タイプ4※2	ブロードバンドルータのDHCP機能を使用する場合：設定不要 ブロードバンドルータのDHCP機能を使用しない場合：プライベートIPアドレスを設定。ただし、パソコンや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと同じIPアドレスは設定不可。 詳しくはブロードバンドルータの取扱説明書をお読みください。
サブネットマスク	接続タイプ1	工場出荷時に設定されている「255.255.255.0」のまま使用します。
	接続タイプ2	ネットワーク管理者が指定したサブネットマスクを設定してください。 ただし、イントラネットでDHCP機能を使用しているときは、設定の必要はありません。
	接続タイプ3	プロバイダが指定したサブネットマスクを設定してください。
	接続タイプ4	ブロードバンドルータのDHCP機能を使用する場合：設定不要 ブロードバンドルータのDHCP機能を使用しない場合：ブロードバンドルータのサブネットマスクを設定 詳しくはブロードバンドルータの取扱説明書をお読みください。
デフォルトゲートウェイ	接続タイプ1	設定する必要はありません。
	接続タイプ2	ネットワーク管理者が指定したデフォルトゲートウェイアドレスを設定してください。 ただし、イントラネットでDHCP機能を使用しているときは、設定の必要はありません。
	接続タイプ3	プロバイダが指定したデフォルトゲートウェイアドレスを設定してください。
	接続タイプ4	ブロードバンドルータのDHCP機能を使用する場合：設定不要 ブロードバンドルータのDHCP機能を使用しない場合：ブロードバンドルータのIPアドレスを設定 詳しくはブロードバンドルータの取扱説明書をお読みください。

※1　インターネット経由で本機にアクセスする場合、固定IPアドレス(グローバルIPアドレス)を設定してください。

※2　インターネット経由で本機にアクセスする場合、ブロードバンドルータにバーチャルサーバー機能を設定してください。（→26ページ）

通信速度※3	全接続タイプ共通	データの通信速度を設定します。工場出荷時に設定されている「auto（自動設定）」のままにしておいてください。 設定できる値：auto（自動設定）、100Mbps（全二重）、100Mbps（半二重）、10Mbps（全二重）、10Mbps（半二重）
HTTPポート番号	接続タイプ1、2、3	工場出荷時に設定されている「80」のまま使用します。
	接続タイプ4	本機を複数台使用する場合、個別に設定する必要があります。ただし、同じネットワークに接続している機器と同じポート番号は使用できません。また、以下のポート番号は本機で使用していますので、設定できません。 ポート番号：20、21、23、25、42、67、68、69、105、110、123、161、162、546、547、5002
ホスト名※3	接続タイプ1	設定する必要はありません。
	接続タイプ2	ネットワーク管理者に確認し、必要であれば指定されたホスト名を設定します。
	接続タイプ3、4	プロバイダに確認し、必要であれば指定されたホスト名を設定します。
BOOTP※3	接続タイプ1、2	簡単設定ソフトを使用する場合「ON」に設定します
	接続タイプ3、4	設定する必要はありません
DHCP	接続タイプ1	「OFF」に設定します。
	接続タイプ2	イントラネットがDHCP機能を使用しているときは「ON」に設定します。
	接続タイプ3	「OFF」に設定します。
	接続タイプ4	ブロードバンドルータのDHCP機能を使用するときは、「ON」に設定します。
DNS	接続タイプ1	「OFF 」に設定します。
	接続タイプ2、3、4	DNSサーバーを使用する場合は、「ON」に設定します。
プライマリサーバー セカンダリサーバー	接続タイプ1	設定する必要はありません。
	接続タイプ2、3、4	DNSサーバーを使用する場合は、DNSサーバーのIPアドレスを設定します。 DNSサーバーのIPアドレスはプロバイダに確認してください。 DNSはプライマリサーバー、セカンダリサーバーが設定できます。

※3　本ソフトの運用画面のトップページから［セッティング］－［詳細設定］－［ネットワーク設定］で設定できます。

1台のカメラ画像をJPEGで見る

セットアップが完了したら、本機の画像をJPEGで見ることができます。
また、複数台のカメラのJPEGを1つの画面（マルチスクリーン）で見ることもできます。マルチスクリーンで見る方法についてはCD-ROM内のTS-LANCAM取扱説明書「操作」-「画像を見よう！」-「複数台のカメラ画像をJPEGで見る」をお読みください。

準備

基本設定ページでJPEGに関する設定を行います。ブラウザを起動して、基本設定ページを表示します。

画面1

パソコンを起動した直後の画面から始めます。



STEP1

デスクトップ上などにあるInternet Explorerのアイコンをダブルクリックし、ブラウザを起動します。

画面2

ブラウザが起動し、設定されているホームページが表示されます。



（上の画面は当社のホームページ）

STEP2

簡単設定ソフトで設定したIPアドレスを［アドレス］ボックスに入力し、Enterキーを押します。(IPアドレスを変更していない場合は、「192.168.0.150」を入力します)

DHCPサーバーを使用している場合、本機に割り振られたIPアドレスは、IP簡単設定ソフトの［リフレッシュ］ボタンをクリックすると確認できます。

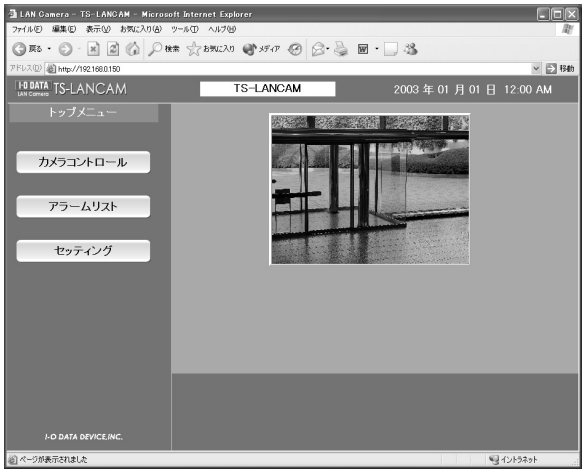
ブロードバンドルータにバーチャルサーバー機能を設定してインターネット側から接続して使用している場合、「グローバルIPアドレス：ポート番号」を［アドレス］ボックスに入力し、Enterキーを押します。

（例）http://×××.×××.×××.×××:8080/
グローバルIPアドレス

イントラネット/インターネットに接続する

画面3

運用画面のトップページが表示されます。



STEP3

［セッティング］ボタンをクリックします。

重要

［セッティング］ボタンまたは［カメラコントロール］ボタンをクリックすると、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。お買いあげ時、初めてご使用になる場合は、以下のように入力し、［OK］ボタンをクリックします。

・ユーザー名：admin
・パスワード：password

ユーザー名adminのパスワードは必ず変更してください。変更方法は付属CD-ROM内にあるTS-LANCAM取扱説明書「設定」-「各種設定」-「ユーザー認証に関する設定を行う」をお読みください。

画面4

基本設定ページが表示されます。



STEP4

基本設定の各項目を設定します。
ここでは［カメラ設定］のみ説明します。

［カメラ名称］
カメラの名称を入力します。
入力したカメラ名称は、ブラウザの更新ボタンをクリックして画面を更新するか次回のブラウザ起動時に反映されます。
入力可能文字数：最大全角16文字

［時刻設定］
日付、時刻を入力します。
年　　：西暦を4けたで入力
月、日　　：2けたで入力
時、分、秒　　：時、分、秒をコロン（：）で区切り、2けたで入力

［パワー／リンク／アクセスLED］
動作状態をLEDで表示したいときは「ON」にチェックを入れます。常に消灯したいときは「OFF」にチェックを入れます。

［設置状態］
カメラの設置状態を「卓上」／「壁掛け」のどちらかに設定します。

STEP5

設定したら、［設定］ボタンをクリックします。

操作のしかた

準備が終わったら、そのまま基本設定ページから操作できます。

画面1

基本設定ページから操作します。

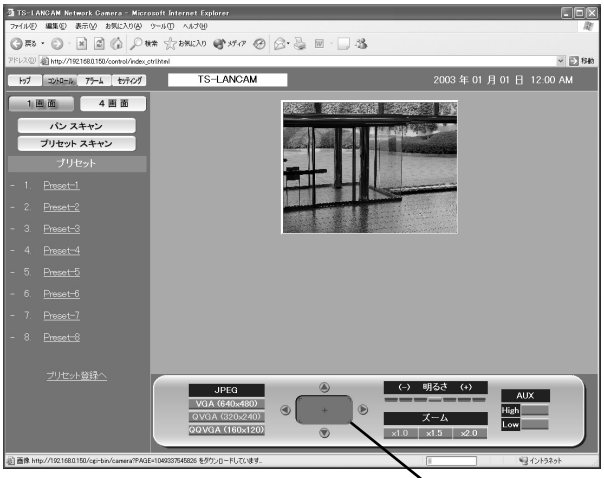


STEP1

［コントロール］ボタンをクリックします。

画面2

コントロールページが表示されます。カメラの画像がJPEGで表示されます。



パッド

STEP2

カメラの操作や画像の調節を行います。

［パン・チルト］
上下左右のボタンをクリックして調節します。パッド中央の点（横線と縦線の交差部分）が、現在のカメラの位置です。パッドをクリックすると、上下左右ボタンをクリックするより大きく動かすことができます。

［画像の解像度の調節］
見たい画像の解像度のボタンをクリックします。

［画像の明るさの調節］
ボタンをクリックして調節します。一番左側にあるボタンが一番暗く、一番右側にあるボタンが一番明るくなります。また、現在設定されているボタンが緑色になります。

［ズーム］
見たい倍率のボタンをクリックして調節します。倍率を上げると、画像が粗くなります。

［AUX］
本機のAUX出力端子の状態を設定できます。AUXの出力端子の詳細については付属CD-ROM内にあるTS-LANCAM取扱説明書の「アラーム端子・AUX端子について」をお読みください。

※アラーム端子、AUX端子の使用については、サポート対象外となります。

［パンスキャン］
カメラを左右に1往復ずつ動作させ、モニタリングします。

補足

- 本機のネットワークの設定が完了し、カメラの画像を見る操作から直接始める場合は、ブラウザを起動して、画像を見たいネットワークカメラの運用画面のトップページを表示します。表示されたトップページにカメラの画像が表示されます。
- ［画像更新速度］が「Very Slow」に設定されているときに、パン・チルトを実行すると、画像が滑らかに表示されません。

イントラネット/インターネットに接続する

1台のカメラ画像をMPEG-4で見る

1台のカメラの画像をMPEG-4で確認します。この場合、MPEG-4を確認するためのプラグインソフトウェアをインストールする必要があります。

MPEG-4プラグインソフトウェアをインストールしよう

付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入し、CD-ROMにあるランチャーソフトのMPEG-4プラグインのインストールを選択します。
インストーラが起動しますので、画面の指示に従って操作してください。インストール時、パスワードの入力が必要になります。ラベルに記載されているパスワードを入力してください。

※本ソフトウェアは、1ライセンスにつき1台のインストールしか認められておりません。

! 重要

- MPEG-4用プラグインソフトウェアはInternet Explorer専用です。その他のウェブブラウザでは使用できません。
- ファイヤーウォール（ソフト含む）を導入している場合、UDPの全ポートに対してアクセスを許可してください。許可しないと本機の映像をMPEG-4で確認することができません。
- Windows NTではMPEG-4プラグインソフトウェアは使用できません。
- MPEG-4プラグインソフトウェアインストール時、Windows 2000の場合、使用するユーザーは「Administrator」でログオンしてください。また、Windows XPの場合は「コンピュータの管理者」でログオンしてください。
- パソコンの画面設定はTrue color（24ビット）以上に設定してください。

補足

アンインストールする場合は、以下の手順で行ってください。

＜Windows XP以外の場合＞
1. ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択し、コントロールパネルを開きます。
2. ［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。
3. 「Web Video」を選択し、［変更／削除］ボタンをクリックします。
4. 画面の指示に従って削除の作業を行います。

＜Windows XPの場合＞
1. ［スタート］－［コントロールパネル］を選択し、コントロールパネルを開きます。
2. ［プログラムの追加と削除］をダブルクリックします。
3. 「Web Video」を選択し、［変更と削除］ボタンをクリックします。
4. 画面の指示に従って削除の作業を行います。

準備

MPEG-4プラグインソフトウェアをインストール後、基本設定ページでMPEG-4に関する設定を行います。
ブラウザを起動して、画像を見たいネットワークカメラの基本設定ページを表示します。
基本設定ページの表示のしかたについては31、32ページをお読みください。

重要

本機を接続するネットワークの回線速度によっては、MPEG-4の再生に不具合が生じることがあります。この場合は、カメラ設定ページ(動作モード設定タブ)で「最大ビットレート（1クライアントあたり)」を設定します。詳しくは、付属CD-ROM内のTS-LANCAM取扱説明書「設定」-「各種設定」-「動作モードに関する詳細設定を行う」をお読みください。



STEP1

［動作モード選択］
［MPEG-4］にチェックを入れます。
自動的にMPEG-4の基本設定画面に変わります。

STEP2

［MPEG-4モード設定］でMPEG-4画像に関する設定を行います。

［ライブ画解像度］
画像の解像度を以下から選択します。
CIF（352×288）／QCIF（176×144）

［ライブ画画質］
画質を以下から選択します。
Fine／Normal／Low

STEP3

設定したら、［設定］ボタンをクリックします。

イントラネット/インターネットに接続する

操作のしかた

準備が終わったら、そのまま基本設定ページから操作できます。

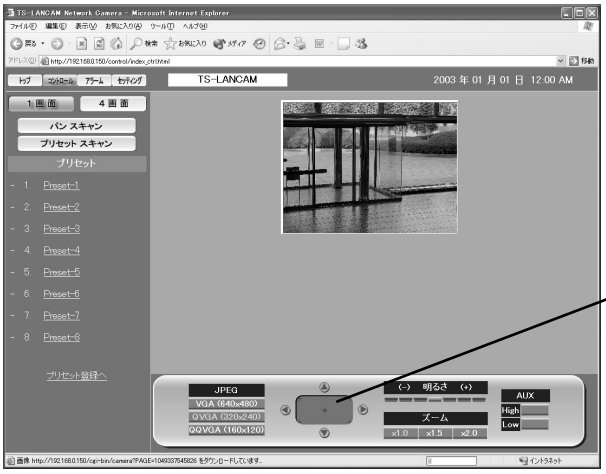
画面1

基本設定ページから操作します。



画面2

コントロールページが表示されます。



パッド

補足

- 本機のネットワークの設定が完了し、操作から直接始める場合は、ブラウザを起動して、本機の運用画面のトップページを表示します。表示されたトップページにカメラの画像が表示されます。
- MPEG-4ストリームのポートは5004に設定されています。他のアプリケーションでこのポートを使用している場合は、本製品のポート番号（偶数）を変更してください。
- 他のカメラの映像に切り換えるときは、[STOP] ボタンをクリックして再生を停止してください。その後、アドレスボックスに見たいカメラのURLを入力して切り換えてください。

STEP1

[コントロール] ボタンをクリックします。

STEP2

[Live-ON] ボタンをクリックすると再生します。
[STOP] ボタンをクリックすると停止します。
停止している間、画像は表示されません。

また、カメラの操作や画像の調節も行えます。

[パン・チルト]
上下左右のボタンをクリックして調節します。パッド中央の点（横線と縦線の交差部分）が、現在のカメラの位置です。パッドをクリックすると、上下左右ボタンをクリックするより大きく動かすことができます。

[画像の解像度の調節]
見たい画像の解像度のボタンをクリックします。

[画像の明るさの調節]
ボタンをクリックして調節します。一番左側にあるボタンが一番暗く、一番右側にあるボタンが一番明るくなります。また、現在設定されているボタンが緑色になります。

[ズーム]
見たい倍率のボタンをクリックして調節します。倍率を上げると、画像が粗くなります。

[AUX]
本機のAUX出力端子の状態を設定できます。AUXの出力端子の詳細については付属CD-ROM内にあるTS-LANCAM取扱説明書の「アラーム端子・AUX端子について」をお読みください。

※アラーム端子、AUX端子の使用については、サポート対象外となります。

[パンスキャン]
カメラを左右に1往復ずつ動作させ、モニタリングします。

携帯電話（iモード）でJPEGを見る

1台のカメラ画像を携帯電話（iモード）で確認します。確認できる画像は静止画（JPEG）のみです。

※携帯での閲覧には、DDNSの設定およびサービスの登録が必要です。（グローバルIPアドレスが、変動するとき）
DDNSの詳細については、「http://www.iobb.net/」をご覧ください。
インターネット経由での接続を行いますので、25ページに従い、接続してください。

STEP1

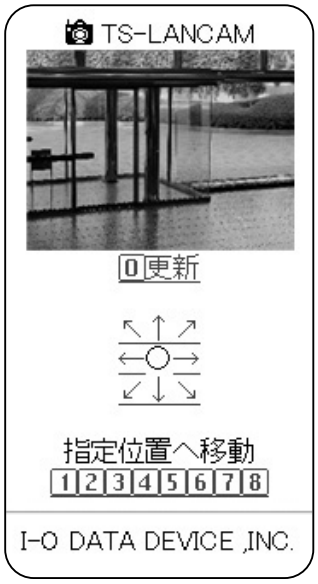
携帯電話で「http://カメラのIPアドレス/cgi-bin/compact」を入力し、［決定］ボタンを押します。
→画像が表示されます。

補足

httpポート番号が変更されている場合、「http://カメラのIPアドレス:ポート番号/cgi-bin/compact」を入力してカメラのポート番号を指定してください。

STEP2

各種操作を行います。



画像の更新：
［0］にカーソルを移動して［決定］ボタンを押すと、最新の画像に更新されます。

パン／チルト：
8方向の矢印表示にカーソルを移動して［決定］ボタンを押すと、カメラが選択した矢印の方向に旋回します。

プリセット位置のカメラ画像を見る：
［1］～［8］にカーソルを移動して［決定］ボタンを押すと、その番号に登録されているプリセット位置のカメラ画像が表示されます。

! 重要

- カメラを制御するには（パン／チルトやプリセット位置へ移動）、アクセスレベルが「カメラ制御」以上のユーザー名とパスワードを入力する必要があります。
- ユーザー認証の設定が「OFF」の場合、管理者のみカメラを制御できます。
- 対応機種は以下のとおりです。（2003年4月現在）
  (i-mode)
  N211i, P211i, SO211i, F212i, SO212i, SH251i
  D251i,F251i, N251i,SH251iS
  N503i, N503iS, P503i, P503iS, F671iS, R692i
  D504, F504i, F504iS, N504i, N504iS, P504i, P504iS, SO504i
  (FOMA)
  N2001, N2002,P2101V, P2002

ファームウェアのバージョンアップ

ファームウェアを最新のバージョンに更新できます。バージョンアップ用ファームウェアの有無は当社ホームページ（http://www.iodata.jp/lib/）で確認してください。

STEP1　当社ホームページにアクセスし、最新のファームウェアをパソコンのハードディスクにダウンロードします。

STEP2　ブラウザを起動し、「http:// カメラのIPアドレス/admin/upload.html」を入力します。
→アップロードの画面が表示されます。

STEP3　［参照］ボタンをクリックしてファームウェアを指定します。

STEP4　アップロード後にデータの初期化を行うかどうかをラジオボタンをクリックして選択します。

STEP5　［アップロード］ボタンをクリックします。
→アップロードの実行とデータ初期化の確認画面が表示されます。（アップロード後にデータの初期化を行わない場合は、確認画面は表示されずアップロードが開始します）

STEP6　［OK］ボタンをクリックします。
→ファームウェアのバージョンアップが始まります。アップロードが終了するまでに5分程度かかります（初期化を行わない場合は2分程度かかります。また、ネットワーク環境によりアップロードにさらに時間がかかる場合もあります）。終了すると、自動的に運用画面のトップページが表示されます。

！重要

- バージョンアップは、パソコンと1対1で、直接接続して行ってください。（接続は14ページ）
- バージョンアップ用ファームウェアを使用する場合は、同ホームページに記載されている注意事項を必ず確認し、その指示に従ってください。
- バージョンアップ時に使用するファームウェアーのファイル名は必ず「firmware.img」にしてください。また、ファイル名はすべて小文字になっていることを確認してください。
- ［アップロード］ボタンをクリック後、次の画面が表示されるまでに約70秒かかります。
- アップロード中はACアダプタを本機または電源コンセントから抜かないでください。
- アップロード中はウィンドウサイズの変更も含め、ブラウザ画面で何も操作を行わないでください。
- 以下のネットワーク関連のデータは初期化の対象外です。
  IP アドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPポート、BootP／DHCP／DNSのON/OFF、DNSのプライマリ・セカンダリサーバーアドレス

仕様

●カメラ

有効画素数	660（H）×492（V）　（32万画素 CMOSセンサー）
レンズ	F 2.35　水平画角51 ° 合焦範囲：50 cm ～ ∞
最低照度	10 lx（30 fps、スローシャッター：OFF時） 2 lx（スローシャッター：10設定時）
パン（左右）	140 °（-70 °～ +70 °）
チルト（上下）	120 °（-30 °～ +90 °）据置時
パン／チルトプリセット	8ポジション

●その他の仕様

圧縮方式	JPEGまたはMPEG-4
解像度	JPEG　：VGA（640×480）／QVGA（320×240）／QQVGA（160×120） MPEG-4　：CIF（352×288）／QCIF（176×144）
画質	JPEG　：Super Fine／Fine／Normal／Low MPEG-4　：Fine／Normal／Low
表示サイズ	1倍／1.5倍／2倍（ただし、解像度は同じ）
同時アクセス数	16ユーザー（JPEG動作時）／4ユーザー（MPEG-4動作時） ※MPEG-4で複数のパソコンから閲覧する時は、台数分、MPEG-4プラグインのライセンスの入手が必要です。
インターフェース	10Base-T/100Base-TX ポート（RJ-45）×1
アラーム入力	OFF　：オープンまたはDC4 V～DC5 V ON　：GNDとのメイク接点
アラーム出力	コレクタ出力（内部プルアップ） OFF　：オープンまたはDC5 V以下 ON　：50 mA以下、DC 1 V以下
AUX出力	コレクタ出力（内部プルアップ） OFF　：オープンまたはDC5 V以下 ON　：50 mA以下、DC 1 V以下
質量	約180 g（ACアダプタ除く）
寸法	高さ95 mm×幅93 mm ×奥行き61.5 mm（ウォールマウント含まず）
電源	DC9 V、330 mA（付属のACアダプタを使用のこと）
ACアダプタ（付属）	AC100 V、50/60 Hz、15 VA　（品番：NOJAEG000001）
使用温度、湿度範囲	0 ℃～+40 ℃、湿度90%以下（結露しないこと）・屋内使用に限る。

保証とアフターサービス よくお読みください

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで受け付けています。

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

オンラインマニュアルの【故障かな!?】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/ 製品Q&A Newsその他

② それでも解決できない場合は…

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター
電話： 本社…**076-260-3644** 東京…**03-3254-1144**
※受付時間 9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**
インターネット： http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. トラブルが起こった状態、トラブルの内容

修理について

■修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（上記【お問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

■修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。

（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

■修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・以下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］、日中にご連絡できるお電話番号、ご使用環境（機器構成、OSなど）、故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は以下の送付先までお送りください。

※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

■修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

MEMO

TS-LANCAM 取扱説明書
2003.04.21　発 行
株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地
© 2003 I-O DATA DEVICE,INC All rights reserved.

もっと近くへ── More Communication

株式会社 アイ・オー・データ機器

本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホ ー ム ペ ー ジ：**http://www.iodata.jp/support/**

●技術的なお問い合わせは専用サポートダイヤルへどうぞ●

金　沢／TEL.076-260-3644　FAX.076-260-3360
東　京／TEL.03-3254-1144　FAX.03-3254-9055
TEL受付時間／9：30～19：00 月曜日～金曜日（祝・祭日を除く）